

Igreja da Misericórdia de Leiria

について

ミゼリコルディア・デ・レイリア教会（Igreja da Misericórdia de Leiria）

ミゼリコルディア・デ・レイリアは、1544年に創設された施設で、当時は、収容施設 [サント・エステヴァン（Santo Estêvão）、ノッサ・セニョーラ・ダ・グラサ（Nossa Senhora da Graça）、サン・ブラス（São Brás）] や、病院 [ホスピタル・デ・ノッサ・セニョーラ・デ・トドス・オス・サントス（Hospital de Nossa Senhora de Todos os Santos）、テセロエス（Tecelões）、エスピリト・サント（Espírito Santo）、フェレイロス（Ferreiros）、ポルト・コヴォ（Porto Covo）、アラバルデ（Arrabalde）]、ハンセン病療養施設 [サント・アンドレ（Santo André）] が付属施設として町の中に併設されていました。

これらの施設の本部に選ばれた場所は、旧ユダヤ人地区だったため、旧ユダヤ教会のあった場所に建てられたと言う人もいます。また、1627～1636年に、ドン・ディニス・デ・メロ・エ・カストロ（Dom Dinis de Melo e Castro）司教によって付属病院の建設が行われ、この病院は、1800年まで営業していました。

その後、18世紀に、ドン・アルヴァロ・デ・アブランシェス・エ・ノローニャ（Dom Álvaro de Abranches e Noronha）司教によって再建が行われ、それが現在の教会の建物となっています。質素な外観をもち、単身廊というシンプルな構造を備えたこのマヌエル様式の教会は、レイリアの歴史的な中心地にあり、現在は、文化的な用途に使用されるスペースとして市議会（Municipal Council）の管理下に置かれています。

問い合わせ先

Rua Miguel Bombarda 2400-190 Leiria